

第21回、自主・自立の成人期に入った我が会の記念すべき岐阜大会を閉じるにあたり、一言、ご挨拶を申し上げます。

先ずは、お世話頂きました、北陸・東海の皆様、とりわけ岐阜県アド協議会の皆様に厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

皆様の熱い思いと明日の日本を担う青少年を健やかに育成しようとする、強い「志」を結集して、29年度の運動方針・事業・予算計画を決定頂きました。

事例発表では、具体的な推進方策が示されました。

上水流（ ）先生からは、これからの我らの進むべき方向を示していただきました。記念パーティーでは、交流を深め、同志の絆を、強く結びあうことができました。

三つの専門委員会では、運動の徹底や事業の推進方策、財源、更にNPO法人化。後継者の養成や組織の強化。啓発資料の活用や作成、HPの活用など真剣な協議を頂き、今後の進め方を決定いただきました。

私も、我が身を顧みず二期目の会長を引き受ける決意をいたしました。勿論、浅学非才でしかも高齢で、体力も経済力もありません。あるのは、若干の時間と長年培ってきた志だけであります。役員を始め会員の皆様のお支えが無ければ、この体も志も簡単に朽ち果ててしまいます。どうか力強いご支援をお願いいたします。

さて皆さん、計画はできました。実践を重ね、途中で振り返り、チェックをし、更なる行動に移しましょう。プラン・ドゥ・チェック・アクションであります。11月の理事・委員会・事務局の合同会議に実践の経過をもちより、来年2月には養成講座で仲間を増やし、4月の理事会にはチェックをして新しい計画を立て、来年6月の東北ブロックでの大会に、その成果を結集しましょう。

私は「来た時よりも美しく」という言葉が好きであります。50数年前に地元のユースホテルで出会った言葉であります。お世話になったホテルを「来た時よりも美しく」して帰ろう、というのが直接の意味ではありますが、私は「自分が受け継いだ時よりも、より良くして、次に引き継ごう」という意味と思っています。言葉は「後から来る人の為に」と続っていました。

私たちの育ったふるさとや町は、私達が受け継いだ時よりも、より良くして次の世代に引き継ぐのが、我々の役割であり、使命であると思います。我々の育成運動も同じであります。

明日の日本を築くために・・・活発な国民運動を再興するために・・・我らの後継者をつくるために、何時も前を向き、夢と希望をもって、実践に努めていきましょう。

「天下不武」の旗印を掲げた織田信長の夢に、思いを馳せながら、一年間の成果を結集する来年6月の全国大会。東日本大震災から復興の努力を続ける東北ブロックの開催地で会える時を楽しみにして、閉会のご挨拶といたします。

・ ・ また ・ ・ お会いしましょう ・ ・ ありがとうございました。